

年 月 日

富谷消防署長 殿

住 所 _____

氏 名 _____ ⑩

申告者 生年月日 _____

職業(職) _____

電 話 _____

不動産り災申告書

り災年月日	年 月 日	1	り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者	
2	り災場所				
3	建築・購入年月	建築又は購入金額			
	推定・記録・記憶	推定・記録・記憶・不明			
	年 月	3.3㎡(坪)当りの金額(円)	総金額(円)		
4	取得後の経過				
	修繕・改築	年 月	修繕・改築した個所	修繕・改築に要した金額(円)	
		年 月			
	増築	年 月	増築の概要	増築面積(㎡) 増築に要した金額(円)	
	年 月				
5	り災前の建物詳細				
	構造	屋根	外壁	階数	建築面積(㎡) 延べ面積(㎡)
	建物の用途		居住世帯数	世帯	居住人員 人
6	建物のり災状況(焼損・水損・破損)				
	り災場所	面積		見積額	
		㎡		円	

7	建物・収容物以外のり災状況			
	り災物件名	り災の別	数量又は面積	経過年数
		焼・消・他		年
		焼・消・他		年
		焼・消・他		年

8	火災保険の契約		
	契約会社名	契約年月	保険金額（万円）

備考

- この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものであります。
- あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- この申告書は、建物1棟について1枚を使用してください。

記載要領

(1の欄)

り災物件と申告者との関係の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

(3の欄)

- 各欄の記入にあたっては、それが推定によるものか、記憶に基づくものか。あるいは帳簿や契約書などの記録によって明らかなものか、いずれかあてはまるものを○で囲んでください。
- 総金額は、り災した建物の総計金額の事です。

(4の欄)

建物を取得してから、り災するまでの間に修繕又は改築した箇所を具体的に記入してください。

(5の欄)

- 建物の用途の欄は、住宅、店舗、倉庫、物置、作業場又は工場のように使用されている用途を記入してください。
- 坪を平方メートルであらわす場合は、3.3を乗じてください。

(6の欄)

焼損、水損、破損の別を記入。時価見積額を記入してください。

(7の欄)

- り災物件名の欄は、へいの類、庭木の類、看板などり災した物を記入してください。
- り災の別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。ただし、焼・消・他の意味は次のとおりです。
 - 焼：燃えたもの、熱で侵されたものなど。
 - 消：消火するために壊れたもの、濡れたもの、汚れたものなど。
 - 他：煙で汚れたもの、運びだすときに壊れたもの、避難するときに壊れたものなど。